

3歳児年間指導計画

認定こども園あおがき

<p>遊び場面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●園生活を楽しみにし、自分のしたい遊びに夢中になる子どもがいる反面、休み明けで不安定な子どももいる。個々の様子を把握しながら、一人ひとりが十分に楽しめるように援助していく。 ●身の回りの始末や排泄などの基本的な生活習慣を自分でしようとするが、まだ個人差が大きい。自分から取り組み自分でできる喜びを味わえるようにする。 ●友だちと一緒に動く楽しさを味わえるようになる。保育教諭の合図を聞いて行動したり、投げ掛けや環境によって行動したりする楽しさを味わえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●友だちと一緒に同じ遊びをする楽しさを感じ、友だちとの関わりが深まるようにする。そのため、自分の思いや考えを通そうとして、トラブルが起こることもある。その中で相手の気持ちにも徐々に気付くようにしていく。 ●自分のイメージを、言葉や動き、造形遊びなどで自由に表現することを楽しむようになるので、自分の思いを伸び伸びと表現する喜びを感じられるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●身の回りのことや生活に必要なことなど、自分でしようとする気持ちを大切に、できた喜びを味わえるようにする。 ●安定した気持ちで園生活を送るようになり、仲の良い友だちと遊んだり、友だちや保育教諭の手伝いをしたり、異年齢児とふれあったりして行動範囲が広がってくる。 ●遊びに必要な物を描いたり切ったりしながら、友だちと一緒に楽しめるようになるので、様々な表現活動を楽しめるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●体験したことや想像したことを自分なりに話し、言葉での表現が豊かになってくる。 ●曲に合わせて歌ったり踊ったりする姿が見られるようになるので、それぞれの表現を認めながら、様々な表現活動を楽しめるようにしていく。 ●この1年間で成長したことを共に喜び、進級を楽しみにしていけるようにする。
<p>期</p>	<p>Ⅲ期（9～12月）</p>		<p>Ⅳ期（1～3月）</p>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●のびのびと体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ●保育教諭や友だちと一緒に生活することを楽しみ、話したり聞いたり、会話を楽しんだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●経験したこと、感じたこと、想像したことなどを、様々な方法で表現する。 ●クラスの友だちと一緒に運動遊びをする楽しさを味わう。 ●日常生活の中で自分でできることは進んでしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的な生活習慣が身につく、自信をもって伸び伸びと行動する。 ●友だちと遊んだり話したり歌ったりすることを喜び、一緒に活動しようとする。 ●冬の自然に興味をもち、見たり、ふれたり、試したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な造形遊びで意欲的に取り組み、自分なりに表現する楽しさを味わう。 ●大きくなる喜びと進級に対する期待をもって生活する。
<p>指導内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●季節の移り変わりに伴う生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする。 ●活動や運動量に食事の開始時間や量など、時期に応じて調理師と連携を取り進めていく。 ●いろいろな食材に興味をもち、食事のマナーに気を付けて友だちと一緒に食事を楽しむ。 ●友達と簡単なルールのある鬼ごっこなどをし、みんなと一緒に遊ぶことを喜び。 ●自分のしたい遊びが見つかり、その遊びに必要な遊び道具や材料などを自分で選べるようになる。 ●好きな遊びを繰り返し楽しむことで、遊び方が次第に巧みになる。 ●友だちや保育教諭と走ったり、思い切り体を動かしたりする心地良さを体験する。 ●平均台、マット、ボールなどを使って遊びながら、遊具の安全な使い方や置き方を知る。 ●行事を通して4歳児や5歳児とふれあい、楽しさを共に感じたり、5歳児に対する憧れを感じたりする。 ●積み木などで遊びの場（乗り物、家など）を、友だちや保育教諭と一緒に作って遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●散歩など園外に出たときは、友だちや保育教諭と一緒に安全に気を付けて行動しようとする。 ●身近な物の色・形・大小などの違いに気付く。 ●木の葉、木の実、小石などを集め、それらを使って、いろいろな遊びをする。 ●季節の移り変わりに興味・関心をもつ。 ●年上の子や保育教諭が虫や小動物の世話をするのを見たりふれたりして興味をもつ。 ●自分の気持ちや困っていること、してほしいことなどを、保育教諭に自分なりの言葉や方法で伝えようとする。 ●遊びの中で、友だちとのやり取りを楽しみながら、生活に必要な言葉を知っていく。 ●リズムに合わせて体を動かしたり、身近な動物や乗り物の動きを体で表現したりして楽しむ。 ●歌を歌うことや簡単な楽器遊びを楽しむ。 ●絵本や紙芝居などを保育教諭に何度も読んでもらったりしながら、絵本の世界を楽しむ。 ●自分の好きな物を描いたり作ったり使ったりして遊ぶ。 ●身近な素材で好きな物を作り、それを使って遊ぶことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●手洗い・うがい、着脱、排泄などの手順や意味を理解し、見通しをもって自分からしようとする。 ●全身を使った遊びを十分に、寒くても活動的に元気が過ぐそうとする。 ●異年齢の友だちと関わり、進級への期待や年下の子に対して思いやりや気持ちをもつ。 ●クラスのみんなと一緒に行動したり活動したりする楽しさを感じる。 ●友だちが困ったり泣いたりすると、慰めたり保育教諭に伝えたりするなど、相手の身になって手助けをしようとする気持ちが出てくる。 ●順番や交代することがわかり、並んで待ったり交代で遊具を使ったりする。 ●伝統的な正月遊びや行事にふれて遊ぶ。 ●霜柱、雪、氷など、冬の自然を見たりふれたり体で感じたりする。 ●公共物や共有する物を大切に扱おうとする気持ちももてるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●物や場所の安全な使い方が分かり、自分から気を付けて遊ぼうとする。 ●遊んだ後、片付けをするときれいになる心地良さが感じられるようになる。 ●遊びの中で感じたことや考えたことを言葉に出して表現する。 ●絵本や紙芝居などをみんなで楽しみ、好きな登場人物になり切って遊ぶ。 ●描いた物や作った物を、保育教諭と一緒に飾ったり使ったり遊んだりする。 ●好きな絵本や紙芝居などを使って、ごっこ遊びやお話遊び、表現遊びをする。 ●音楽に合わせて様々な楽器を友達同士で自由に鳴らして遊ぶ。 ●季節や発達に応じて行事に参加し、いろいろなことを表現する喜びを味わったり、友だちの表現を見て楽しんだりする。 ●ごっこ遊びを通して、言葉のやり取りを楽しんだり、必要な物を作ったりして遊ぶ。
<p>環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●いろいろな行事などに、無理なく参加できるような取り組み方を工夫する。 ●一人ひとりの興味や関心に合わせて遊びに使う物を自由に使えるように、いろいろな遊具や材料を用意する。 ●自然の中で自分たちで見つけた物（石、枝、木の葉、木の葉など）や身近な材料などを利用して造形遊びが楽しめるようにしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運動会がきっかけとなって、異年齢児のまねをしたり、ゲームを繰り返し楽しんだりして遊べるように、必要な道具や材料を身近に置いておく。 ●全身を使った遊びが繰り返し楽しめるような遊具や用具など環境の工夫を心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ●暖房・換気・寒さへの対応をするなど、安全・健康な環境に留意する。 ●好きな友だちと一緒に遊ぶ場や、見立てたりつもりになったりして遊べるような玩具や用具などを用意しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な遊びが発展し、継続していくように遊具や材料の準備や置き方に配慮し、積極的に取り組みたくなるような空間づくりを心掛ける。 ●年上の子と関わりをもち憧れや、進級に期待をもてるようにする。
<p>援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★一人ひとりの子どもの表情や身振りや言葉など、表現している子どもの気持ちを感じ取り、必要に応じた援助をする。 ★子どもの思いや見立てなどを受け止めたり、いろいろな遊び方を知らせたりして、遊びを楽しめるようにする。 ★園の内外で自然にふれられる場や機会を設け、楽しめるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ★友だちとの遊具の取り合いなどのトラブルでは一人ひとりの気持ちを受け止め、相手の気持ちにも気付けるように援助する。 ★行動範囲が広がっていくので、十分な時間の確保や環境の整備を行うとともに、遊びが充実するようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ★基本的な生活習慣が身についたか確認し、一人ひとりの自立へ向け援助していく。 ★子ども同士と一緒に遊べるような環境を用意したり、保育教諭も一緒に仲間に入りながら必要に応じ言葉を掛けるようにしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ★園生活や家庭内の生活で、3歳児なりに公共心や役割をもって手伝いをするので、役に立っただけの喜びを感じられるようにする。
<p>連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●運動会や参観日などでは、一緒に参加しながら、自分の子どもだけではなくクラスの友だちや他の年齢の子どもの様子も見ながら、3歳児の成長を理解してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●寒さに向かっでの健康管理の大切さや、生活習慣（生活リズムを守る、衣服の調節、手洗い・うがいの励行 など）を定着させるための方法をお便りなどで具体的に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己主張や自立心が強くなるが、まだ甘えたい気持ちもあることを理解して、温かく受け止めるよう家庭と園での連携を取り合う。 ●発表会などで発表する内容やそのプロセス、目的などを、事前にクラス便りなどで伝え、保護者から子どもにその成長を共に喜ぶ言葉を掛けてもらうようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●個別懇談で1年間の歩みを保護者と共に振り返り、子どもの成長を喜び合うなど、進級に向けて有意義な機会にする。
<p>の園生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●生活に必要な言葉遣いや語彙、行動力が豊かになってくる時期を捉えて、一人ひとりの楽しさやおもしろさなどに共感し、意欲的に遊びに取り組めるように、活動内容や環境構成に配慮していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分からやってみようという気持ちを認めて励ましたり、難しいときには手を貸したりしながらも、子ども自身のやる気を引き出し、満足感が味わえるように関わる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一人ひとりの子どもが、自分なりに伸び伸びと充実した園生活が送れているか把握し、個々の成長を認め、自信がもてるようにする。 	